

特集 学生企画

「平和について考える。」の第二弾。

今年の春から、イラク人留学生が大学院医学系研究科で腫瘍学を学んでいるという。紛争地域から、なぜ、どのようにして信州大学へ来たのだろうか？ 私たちはアメリカ、ドイツ、中国の留学生と共に、イラクの留学生、アルカザイル・リカーさんの話を聞き、平和について語り合った。企画スタッフ：上野 悠香（OG）、富岡 友里恵（経済4年）

◎アルカザイル・リカーさんの体験談十インタビュー◎リカーさんのお話を聞いて（学生から）

平和について考える。 イラクからの留学生



①

①ウルクの遺跡の管理人父子
②バグダッド
休日ごとに開かれる古書市
③モスルの遊園地の少女たち

②

③

写真：本橋 成一（2002年撮影）

